

## 障がい者就労施設における生産活動の効率化に資するICT機器等の導入事業 事業効果（事業導入前後の比較）

### 1. 補助事業者

法人名	社会福祉法人 よしかの里福祉会
事業所名	就労継続支援B型事業所 アスター
提供サービス	就労継続支援B型

### 2. 事業概要

事業実施の背景・課題	原材料費や電気料金の上昇により製造コストが増加しているが、価格を上げると販売数の減少が懸念される。また、人口減少や高齢化、公共交通機関の減少により、店舗まで来店できない人が増えている。さらに、移動販売では重い保冷バッグを運ぶ必要があり体力的負担が大きいため、作業に参加できる利用者が限られており、パンの詰め込み作業も職員が中心となっている状況である。
事業目的・効果	高齢化により来店が難しい人への対策として移動販売専用車による販売を行い、地域課題の解消と売上増加による工賃向上を目指す。また、保冷対策を行うことで食中毒や品質劣化を防ぐとともに、詰め込みや運搬の負担を軽減し、利用者ができる作業を増やす。さらにディスプレイケースの活用により購買意欲の向上を図る。これにより、週約42,000円、月約168,000円、年間約200万円の売上増加を目指し、工賃向上につなげる。
導入機器（名称・数量等）	移動販売冷凍車 1台
導入機器の用途	菓子パンの移動販売
導入に要した経費（税込・円）	2,750,000

### 3. 事業効果（導入前後の比較） ※具体的・詳細に記載してください。

項目	事業実施前の状況	事業実施後の状況
利用者の従事可能な	気温が高い季節は保冷バックに販売ケース4個（重量	ショーケースを導入することで、利用者がパンの種類
作業の効率化	①販売ケースにより多く、型崩れしないように詰めこんでいる。 ②気温が高い季節は保冷バックに販売ケース4個（重量30 <sup>kg</sup> ）を入れて車両から販売先の販売スペースまで保冷バックを人力で運ぶ作業があった。	利用者がパンの種類ごと（惣菜系・フルーツ系・あんこ系など）に分けてディスプレイする作業を担当できるようになる。例えば、パンを種類別に並べる作業、売れた商品の補充、見やすく整える作業などを利用者が行うことが可能となる。これにより、これまで体力的な理由などで移動販売に参加できなかった利用者も作業に従事できるようになり、作業の効率化や作業機会の拡大につながった。
工賃・賃金向上	これまで店舗に来ることが難しかった地域の高齢者や住民の皆さんがいたため、売り上げが伸びなかった。	週に約120個の販売増加を見込んでいる。これにより、350円×120個＝週約42,000円の売上増加が期待された。売上が増加することで事業所の収益向上につながり、その成果を利用者の工賃へ反映することで、工賃向上を図ることができると考えられる。
障がい特性に応じた適切な就労支援	この販売車を購入前は、移動販売の作業に限られた内容となっており、体力的な負担も大きかったため、参加できる利用者が一部に限られていた。そのため、多くの利用者が作業に関わることが難しく、働く機会も十分とはいえない状況であった。	パンの移動販売では、利用者の障がい特性や能力に応じて作業を分担することが重要であり、体力面に配慮が必要な利用者には陳列や補充作業を、接客が得意な利用者には販売補助を担当してもらうなど、それぞれの得意分野を活かす。職員が適切に支援することで、多くの利用者が作業に参加でき、働く機会の拡大と工賃向上につながる。

### 4. 写真等（導入機器、導入機器を使用した作業風景等）

商品陳列状況	販売状況	販売状況
		

※本資料は、厚生労働省へ提出するほか、鳥根県HP等に掲載する可能性があります。